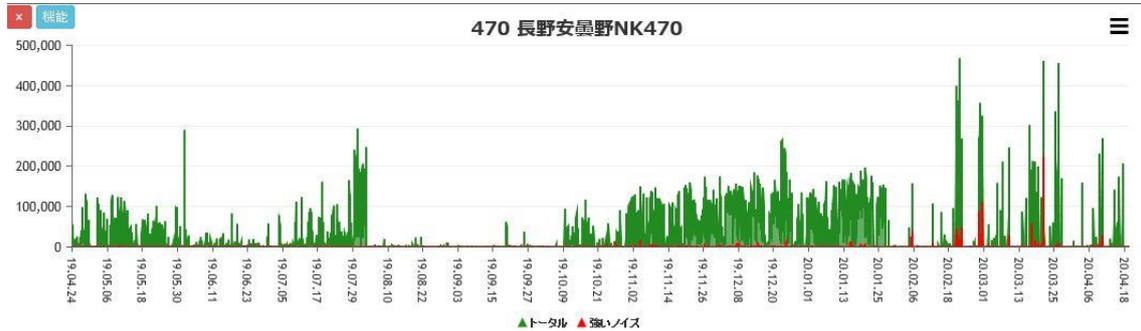


200418 中部～北陸、関西の異常について

<4月18日小笠原諸島西方沖 M6.9、D490kmと4月20日、宮城県沖 M6.1 D50km>
各地の360日データで大きな山が出て、収束が近い。

安曇野 360日



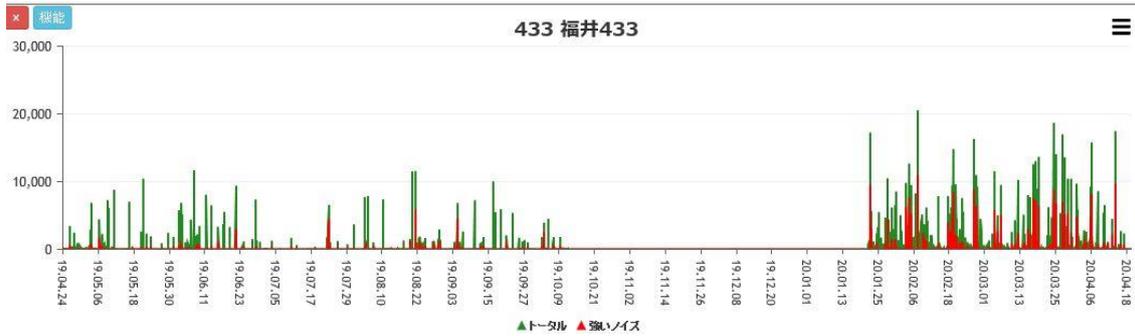
白馬 360日



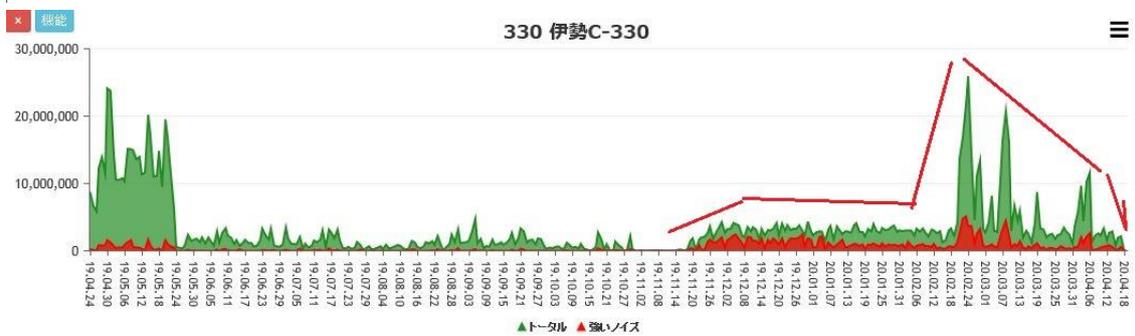
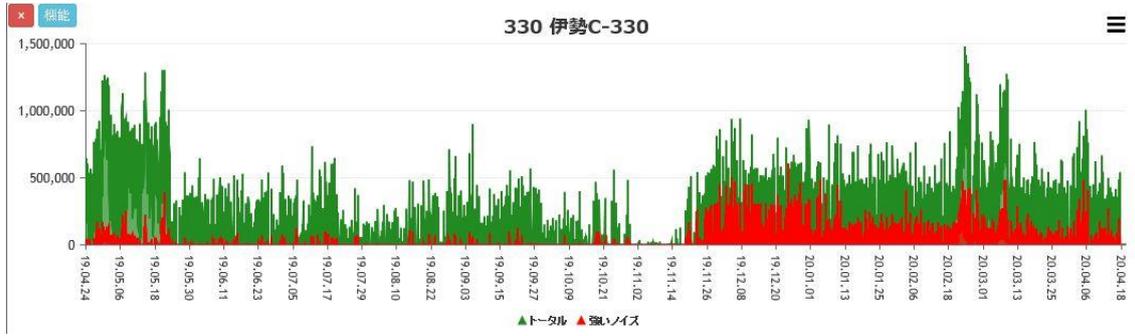
長野白馬 15日 >収束



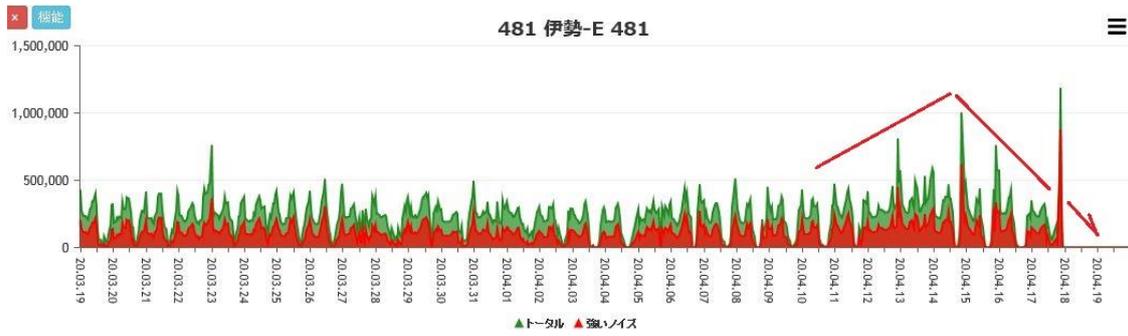
福井 360 日



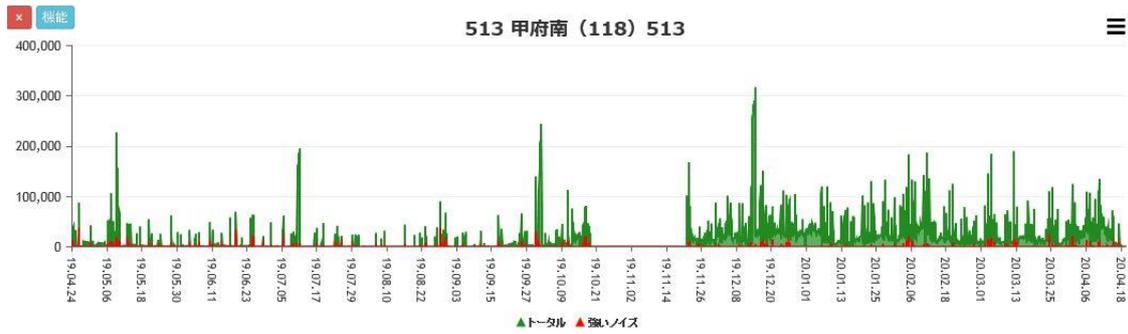
伊勢 C330 360 日



伊勢 E481 15 日>収束



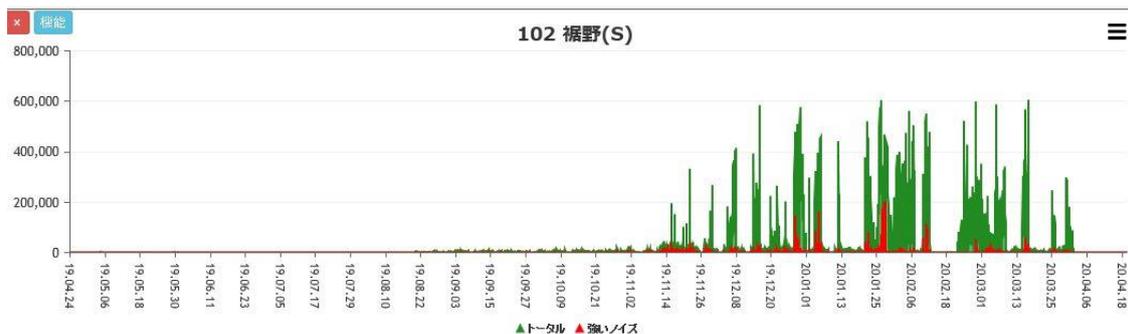
甲府 360 日



甲府 15 日 > 収束

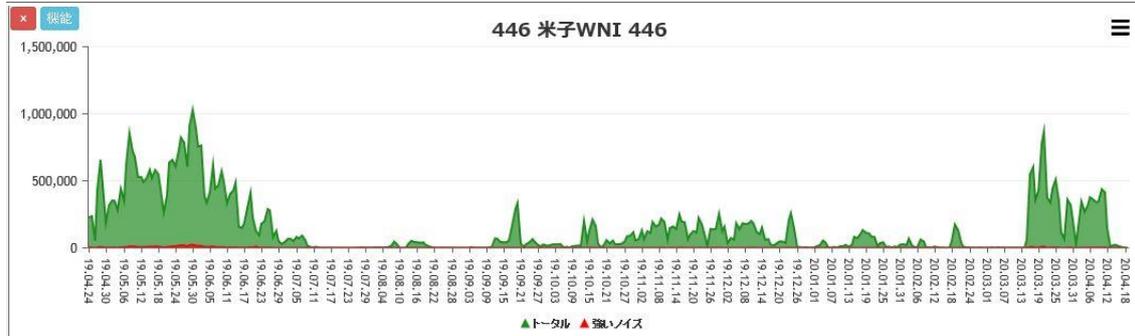
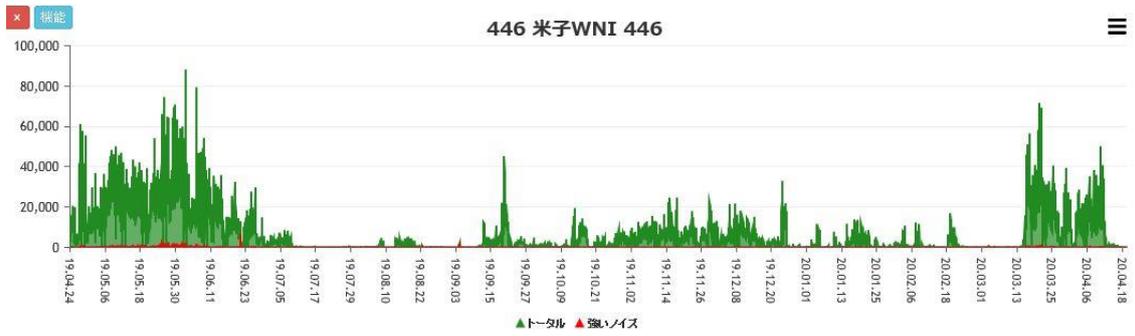


裾野 360 日

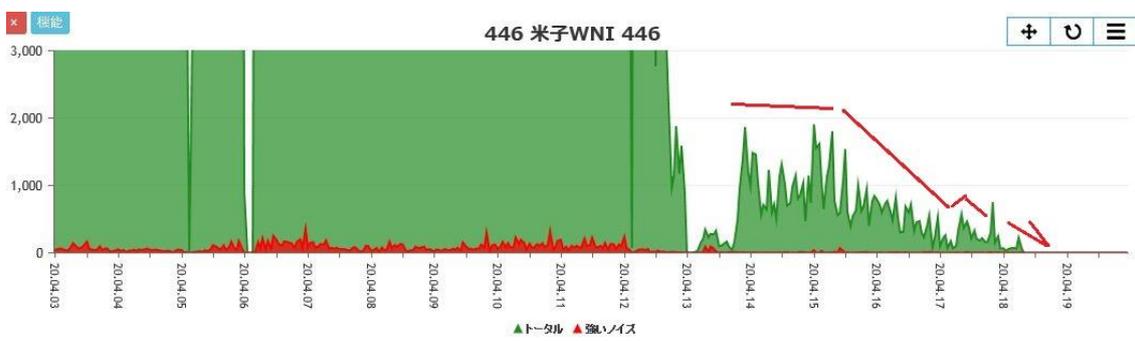




米子 360 日



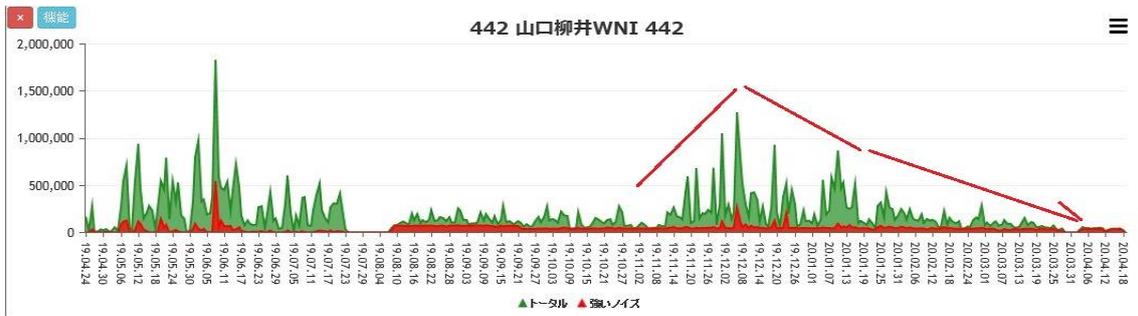
米子 15 日 > 収束



広島 360 日



山口 柳井 360 日

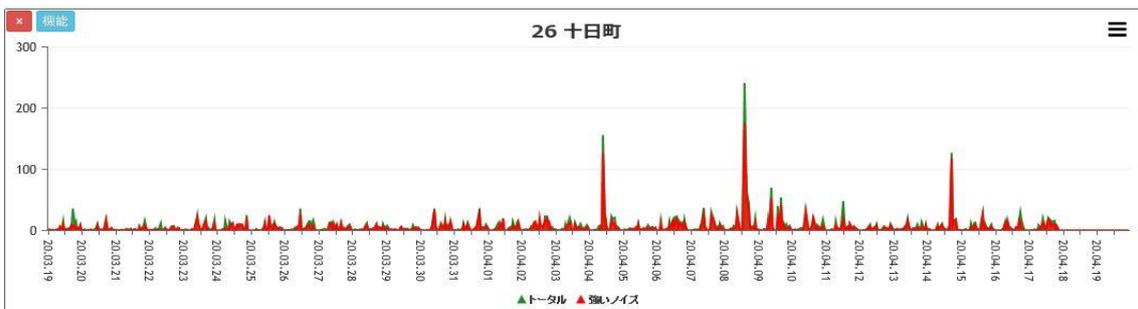


その他 各地の収束

三重志摩 30日>収束



十日町 30日>収束



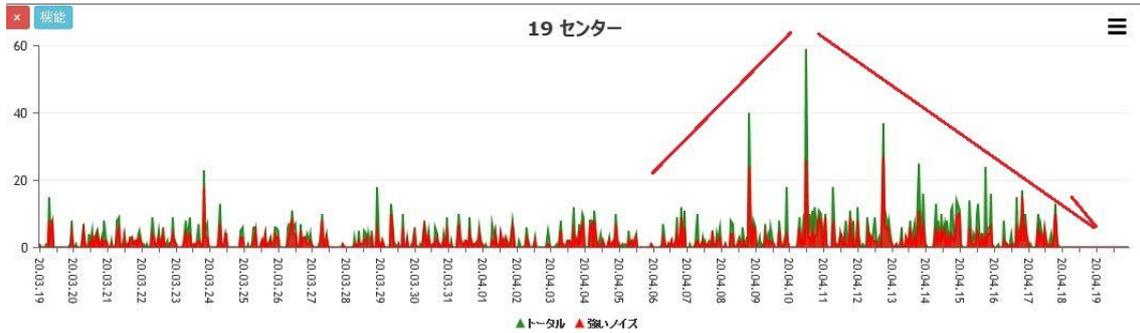
宮城柴田 30日>収束



日光 30日



センター（世田谷）30日>収束



位置関係

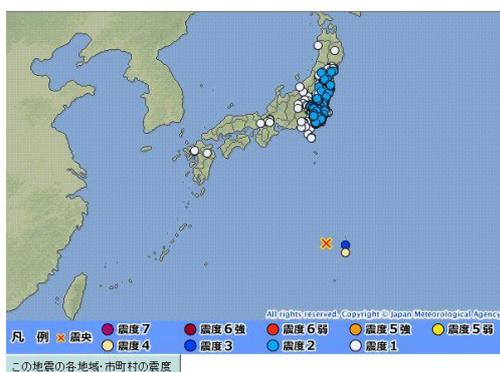


考察 200418 : 日ごとデータなどでみたら、安曇野、福井、甲府、白馬、裾野、米子などに約半年以上の大きなデータが山をつくっていて 収束に近い状態です。

また個々にみたら甲府、白馬、米子などのほかセンターや 中部各地が収束してきています。やはり、米子の収束は はっきりしています。たぶん、この低気圧が去ったあたりで若狭湾の周囲、北陸沖に M6クラスの発震の可能性があるように見えます。

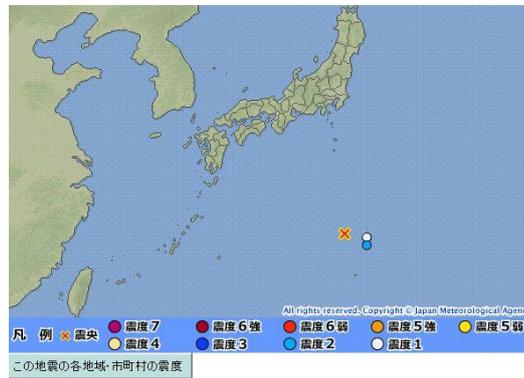
結果>逆の太平洋側であった

200418 小笠原諸島西方沖 M6.9 D490 km 1時間後 M6.0



各地の震度に関する情報
令和 2年 4月18日 17時32分 気象庁発表

18日17時26分ころ、地震がありました。
震源地は、小笠原諸島西方沖(北緯27.2度、東経140.7度)で、震源の深さは約490km、地震の規模(マグニチュード)は6.9と推定されま

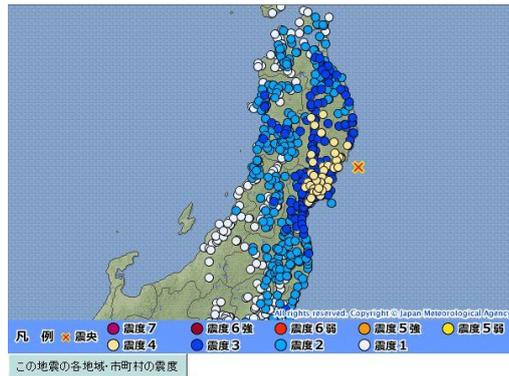
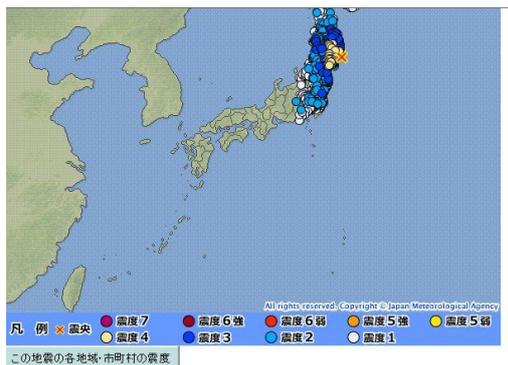


各地の震度に関する情報
令和 2年 4月18日 18時30分 気象庁発表

18日18時26分ころ、地震がありました。
震源地は、小笠原諸島西方沖(北緯27.3度、東経140.6度)で、震源の深さは約490km、地震の規模(マグニチュード)は6.0と推定されま

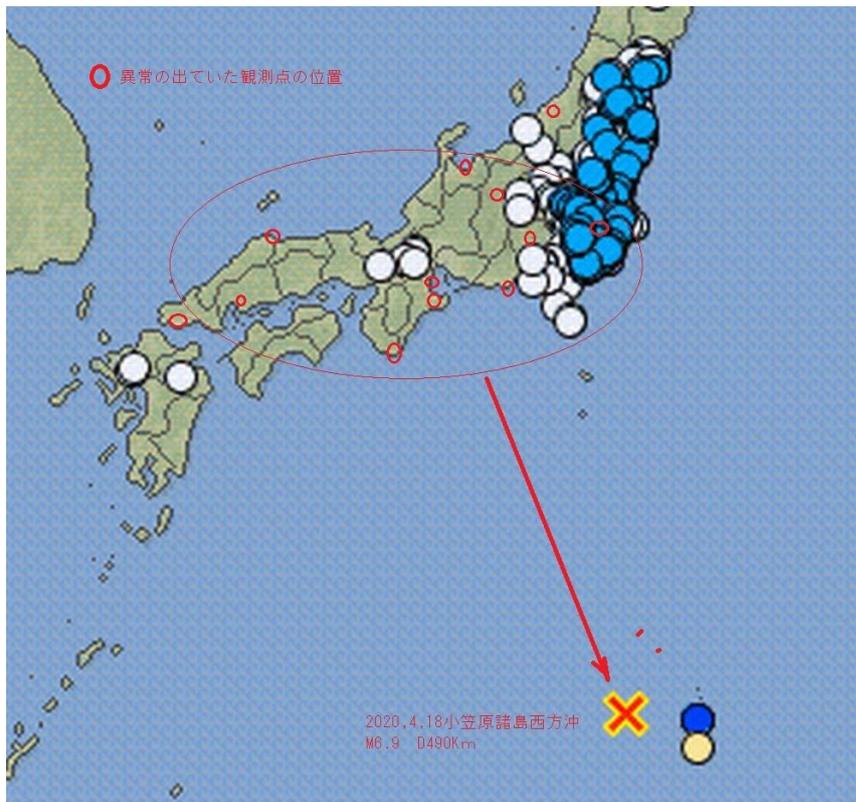
2日後

200420 宮城県沖 M6.1 D50 k m



<結果について>

2020年4月17日までに 関東～中部、関西～中国（松江、山口）まで 大変に広範囲に異常データが見られて、日本海側のM6クラスの大きな地震を予想していたが 実際は翌日4月18日に 太平洋側の小笠原諸島西方沖 M6.9が発生した。震源の深さが490 kmと大変深いことから広範囲の電磁波の予兆が観測されたと思われる。



<2日後の2020年4月20日、宮城県沖 M6.1 D50 kmについて>

太平洋側の沖合の大深度で規模の大きな地震が発生した場合、だいたいの場合は2日あるいは3日後に日本列島により近く浅い場所で少し規模の小さい地震が発生する。こうした例は過去に何度もあり、2009年8月9日に東海道南方沖 M6.9 が発生し、2日後の8月11日に駿河湾で M6.6 が発生した例がある。

学説によると、この事象は太平洋側の沖合の大深度で規模の大きな地震が発生し、そのひずみが伝搬して日本列島により近く浅い場所でひずみを解消するような地震が起きる、というものであると聞く。

今回も同様の事例が起きたもので、4月18日小笠原諸島西方沖 M6.9、D490 kmの地震のひずみの伝搬と解消が2日後の4月20日、宮城県沖 M6.1 D50 kmの発生であると思われる。

